



□□□□

東 雲

□□□□



秦野市立東小学校 令和2年9月1日発行

夏休みの間、静まりかえっていた校舎に、子どもたちの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。大きな事故やけがの報告などもなく、本日を迎えましたことを何より嬉しく思っております。

しかしながら、まだまだ新型コロナウイルス感染が予断を許さない状況であることに加えて、熱中症予防にも気を付けなければなりません。「毎日の健康チェック」「マスク着用」「手洗いの励行」「三密回避」「暑さ対策」など、ご家庭の協力をいただきながら校内の指導や対策に努めてまいります。引き続き、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

始業式に、テレビ放送で子どもたちに次のこととお話ししました。

さて、みなさん夏休みの間も、感染防止を心がけていたと思いますが、新型コロナウイルスの感染状況はあまり良くなっていません。6年生は、この9月に予定していた修学旅行が残念ながら延期になり、まだまだ心配な状況です。県内の学校では新型コロナウイルスの感染が確認された児童や先生もいます。ですが、もしも身近で誰かの感染が確認されたとしたら、優しくして下さい。優しくというのは、なぜなら、この病気、感染防止に努めていても、かかってしまうことがあるからです。残念ながら、まだこの病気のことがよくわかっていません。

大事なことは、みなさんの感染防止の努力で この病気にかかった人が重症化しないように、病気で苦しめないようにすることです。今できる、みんなの努力で、この病気にかかる人を増やさないように、気を付けることです。

その努力というのは、まず毎朝の体温チェックで体調がよいかどうか、確かめる。体調が悪いときはおうちの人に相談して無理はしません。これとっても大事です。

2つめはマスクの着用を心がけて下さい。熱中症も心配なので登下校のときや部屋の中でも暑いときは、はずしてもよいですが、その場合、お友だちとの距離に気をつけましょう。ソーシャルディスタンスです。

3つめは、朝登校したら手洗い。授業が終わったら手洗い、給食の前も後も手洗いと小まめな手洗いが大事です。引き続き新たな生活様式の中で感染防止に気をつけていきましょう。

そして、こういうときだからこそ、お友だちにもいつも以上に 優しく思いやりのあるかわりができるとよいです。元気な人は、ぜひみんなのために、優しく思いやりのある声かけをお願いします。中には新型コロナウイルス感染拡大の中で、不安な人もいます。やさしく思いやってお話しをすれば、みんなが安心して過ごせると思います。見守ってあげるのもいいと思います。

元気になれないときは、とりあえず目の前のことに向き合ってみよう。目の前のこと一生懸命やってみようとする、食べてみよう、書いてみよう、歩いてみようなどしていると、少しずつ元気が出てくると思います。

いろいろあるけど、目の前のこと やってみよう がんばってみようというというのは、マインドセットといって、気持ちを切り替えるひとつの方法です。目の前のことに、今できる全力で向き合ってみてほしいと思います。それでも、元気になれない人は、校長先生もお話を聞くので、校長室へ来てくださいね。

みんなが2学期も安心して学校生活を送れるよう応援しています。これでお話を終わります。